



いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎ 5144

冬に咲く花

陶史の森にあるウサギ舎の周りでは、サザンカが鮮やかな花を咲かせています。よく似た花に寒椿カンツバキがありますが、サザンカが花びらを散らすのに対して、椿は花全体が落ちるの
で区別できます。

12月、木々はすっかり葉を落とし、山は寒々とした景色が広がります。俳句の世界ではこの様子を『山眠る』と表します。しかし、ほとんどの植物が眠る冬の季節に、なぜサザンカや寒椿は花を咲かせるのでしょうか。そこには、子孫を残すという植物自身の大切な目的があります。美しい色の花や、よい香りの甘い蜜でミツバチなどの虫を誘い、花粉をめしべに運ばせて受粉するのです。

ところが、ほとんどの昆虫は冬に活動していません。サザンカは誰に花粉を運ばせているのでしょうか。実は虫ではなくメジロなどの鳥を誘い花粉を運ばせているのです。こうした花は『鳥媒花ちようばいか』と呼ばれます。美しいものや甘いもので誘い、目的を達成するという植物の知恵には感心するばかりです。一方、人間の世界では…おいしい話には十分気を付けた方が良いでしょう。

季節はまもなく大雪たいせつの候、厳しい冬に備えて、そろそろ冬支度を。

森の日記

中学生の職場体験

10月26日(水)・27日(木)

市内の中学生が職場体験学習に陶史の森を訪れました。将来の夢実現のために、動物が大好きな生徒がウサギや鳥の餌やり、羊小屋の掃除などに汗を流しました。動物が大好きとあって積極的に作業に取り組んでいました。



水鳥飛来 10月26日(水)

木枯らしが吹き始めると、陶史の森にある林泉の池に冬鳥がやってきました。コガモ、カルガモ、カイツブリなどが飛来し、池に潜って餌となる魚を捕っています。池では、ガチョウやアイガモ、マガモやカワウなども観られます。

教室のご案内

12月

●正月飾り教室(要申込・定員20人)
12月11日(日)午前9時~11時30分
木の実などを使った正月飾りを作る

●バードウォッチング(自由参加)
12月18日(日)午前9時~11時30分
冬の野鳥を観察(雨天中止)

1月

●バードウォッチング(自由参加)
1月22日(日)午前9時~11時30分
冬の野鳥を観察(雨天中止)

休園のお知らせ

12月29日(木)~平成24年1月3日(火)まで休園します。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。